

# 予算審査特別委員会記録

令和2年3月13日（金）午後3時40分開議

## ○審査日程

- 1 議案自第7号至第24号分科会報告、意見表明、採決

## ○出席委員

桜井秀夫君	青山雅紀君
伊藤隆広君	渡辺忍君
鷺見隆仁君	秋山陽君
岩井美春君	小坂さとみ君
岡田慎君	安喰初美君
伊藤康平君	森山和博君
櫻井崇君	蛭田浩文君
石川弘君	阿部智君
岩崎明子君	松井佳代子君
亀井琢磨君	田畑直子君
川合隆史君	椀澤洋平君
酒井伸二君	村尾伊佐夫君
植草毅君	岩井雅夫君
秋葉忠雄君	小松崎文嘉君
向後保雄君	川村博章君
宇留間又衛門君	麻生紀雄君
段木和彦君	白鳥誠君
盛田眞弓君	中村公江君
近藤千鶴子君	川岸俊洋君
小川智之君	中島賢治君
三須和夫君	石井茂隆君
森茂樹君	茂手木直忠君
米持克彦君	石橋毅君
橋本登君	三瓶輝枝君
福永洋君	野本信正君

## ○説明員

市長	熊谷俊人君	副市長	鈴木達也君
副市長	服部卓也君	総務局長	山田啓志君
総合政策局長	川口真友美君	財政局長	小池浩和君

**暫定版**

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（3月13日）

市民局長	曾我辺 穰 君	保健福祉局長	山 元 隆 司 君
こども未来局長	峯 村 政 道 君	環境局長	米 満 実 君
経済農政局長	加 瀬 秀 行 君	都市局長	佐久間 正 敏 君
建設局長	佐 藤 寿 之 君	消防局長	兼 卷 重 義 君
会計管理者	小早川 雄 司 君	都市局次長	松 本 真 吾 君
建設局次長 兼水道局長	出 山 利 明 君	病院局次長	初 芝 勤 君
市長公室長	折 原 亮 君	総務部長	大 野 和 広 君
財政部長	橋 本 欣 哉 君	教 育 長	磯 野 和 美 君
教育次長	神 崎 広 史 君	選挙管理委員会 事務局長	石 野 隆 史 君
人事委員会 事務局長	香 取 徹 哉 君	農業委員会 事務局長	松 浦 良 恵 君
代表監査委員	大 木 正 人 君		

○議会事務局

事務局 長	鎌 田 栄 君	次 長	湊 信 幸 君
議事課 長	松 本 伸 一 君	議事課長補佐	中 嶋 健 君
議事班主査	木 下 哲 央 君		

午後 3 時 40 分開議

○委員長（近藤千鶴子君） ただいまから、予算審査特別委員会を開きます。

出席委員は50名、委員会は成立いたしております。

本日の審査日程につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

議案自第7号至第24号分科会報告、意見表明、採決

○委員長（近藤千鶴子君） それでは、議案第7号から第24号までの18議案について、分科会報告、意見表明、採決を行います。

分科会報告につきましては、お手元に配付のとおりでございます。

分科会報告を添付

○委員長（近藤千鶴子君） 意見表明の通告が参っておりますので、通告順に従いお願いいたします。中村公江委員。

○委員（中村公江君） 日本共産党千葉市議会議員団を代表して、2020年度一般会計予算案に反対する立場から意見表明を行います。

まず第1に、国政との関係で安倍内閣に追随している姿勢があるからです。

安倍政権が憲法改正に執念を燃やしており、平和市長会議に名を連ねている市長に改憲発議に反対を求めましたが、憲法改正についてはそれぞれの考えがあつてしかるべきと国民的議論を経た上で、国民投票により決まるとの立場をとり続けています。

桜を見る会での政治不信をめぐる問題についても、国民の理解が得られるよう国会で説明が果たされるべきと国任せです。

カジノ問題では見送りしましたが、政治資金パーティーにI Rカジノ関連企業が参加しているのか答えず、断念どころか有効な戦略を研究していきたいと抱負を述べています。

全世代型社会保障についても制度の見直しに当たっては、少なからず市民生活に影響を与えているしながら、独自に国に発言する立場はとっていません。

第2に、子育て支援に逆行するひどい予算を進めていることです。

子育て支援には、経済的負担の軽減が欠かせません。しかし、千葉市ではこの8月からゼロ歳から中学3年生までの子供たちの医療費の薬局での窓口負担を徴収し、医療費負担を上限すら決めずに倍増する予算を示しました。病気のお金への心配なく受診できるようにすることが自治体としての務めですが、それを放棄するものです。

その上、徴収した費用で学校へのエアコンの利用の電気代に充て、児童相談所の充実などに使うと値上げを正当化することも許せません。さらに、学童保育、子どもルームの指導員の待遇改善を子どもルームの利用料を引き上げて実施しようとしており、当事者同士の対立をあおることは認められません。

第3に、大型開発を優先して市民生活福祉を削る予算を講じようとしているからです。

大型開発には9事業で87億5,751万円、昨年と比べ約31億279万円増の予算を計上し、（仮称）千葉公園ドーム整備、250競輪事業はギャンブル依存症を増加させ、中央公園・通町公園連結強化事業はにぎわいが広がる見通しはありません。急がなくてもまだ十分使える市庁舎の整備、イオンのための新駅設置、海浜公園リニューアルなど、大型開発は、緊急性、必要性の視点から大胆に見直して、その財源を市民生活、福祉に振り向けて、地方自治の本旨、住民福祉の増進を図る予算にすることを求めます。

以上です。

○委員長（近藤千鶴子君） 松井佳代子委員。

○委員（松井佳代子君） 市民ネットワークを代表して、令和2年度当初予算案に賛成の立場から意見表明を行います。

新年度の予算編成については、未来につながるひとづくりや本市のグランドデザインを実現するためのまちづくりへの投資に、脱・財政危機宣言解除以来、最も攻めの姿勢で取り組まれています。例えば、小学校の専科教員や部活動指導員を増員したり、新たに児童養護施設において一時保護受入れ施設を整備したりするなどの施策を評価します。また、加曽利貝塚の史跡整備や千葉公園の再整備などの施策が地域活性化の牽引役となることを期待します。

さらに、今年の台風や大雨による被害を踏まえて、災害に強いまちづくり政策パッケージの各種施策を推進することや第3次実施計画に掲げるそれぞれの分野で新規、拡充事業を増やすなど、市民生活の向上や本市の発展につながる施策にも予算の重点的な配分が図られています。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた関連施策についても、大会後を見据えながら準備を進め、レガシーの創出を目指そうとされています。積極的な取組の姿勢を

**暫定版**

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（3月13日）

評価いたします。

一方、課題としては、介護や子育ての分野における扶助費の増加など、社会構造の変化に伴う義務的経費の割合が年々増えつつあり、財政の硬直化が避けられない状況です。歳出では、新庁舎整備や北谷津清掃工場の新設、海浜地区における新病院建設など、今後多額の財政需要が見込まれます。市債残高の適正化や各種事務事業の見直しなど、財政健全化や行政改革に引き続き取り組み、課題の解決に向けて尽力されるよう求めます。

新年度については、防災対策や新型コロナウイルス感染症対策など、国の方針や財政支援に応じて補正予算を組まれることとなります。また、現状において歳入面の大幅な減少が予想されることから、予算の執行についても変更を余儀なくされるおそれもあります。その際には、市民の声を聞き、きめ細やかに説明をし、地域のニーズに寄り添った施策を展開されるよう要望し、会派の意見表明といたします。

○委員長（近藤千鶴子君） 鷲見隆仁委員。

○委員（鷲見隆仁君） 自由民主党千葉市議会議員団の鷲見隆仁でございます。会派を代表いたしまして、令和2年度の予算議案に賛成の立場から意見表明を申し上げます。

今回提案されております新年度予算につきましては、市長の提案理由説明、代表質疑に対する答弁、さらに予算審査特別委員会における分科会での審議等を通じまして、慎重かつ詳細に検討してまいりました。その結果、教育の質向上や教員の負担軽減などの教育環境の充実、待機児童の解消などの子育て支援の充実、また、地域包括ケアシステムの構築、強化など、市民要望に応える施策がおおむね盛り込まれていることが確認できました。

財政の健全化については、主要債務総額について、新庁舎や新清掃工場の建設などの影響があるものの、脱・財政危機宣言の解除時を大きく下回る範囲で今後も推移していく見込みであり、一定の評価ができるものであります。しかしながら、基金からの借入金や病院事業における累積欠損金が多額であるなど、財政課題はいまだにあることから、今後も財政健全化が必要な状況にあります。

このため、市民の皆様には御理解を得ながら、財政の健全化に向けた取り組みを着実に推進するとともに、より豊かな暮らしの実現に向けて努力されるようお願いをいたしまして、自由民主党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（近藤千鶴子君） 村尾伊佐夫委員。

○委員（村尾伊佐夫君） 公明党千葉市議会議員団を代表し、令和2年度予算案に対し、賛成の立場から意見表明を行います。

新年度予算案の審議に当たりましては、市長の提案理由の説明や我が会派の代表質疑に対する答弁、さらには予算審査特別委員会の審議などを通じ、各種施策を検討してまいりました。その結果、新年度予算案は、建設事業債などの主要債務総額を4,800億円に抑えるとした目標は堅持されており、財政健全化の取組が見られる一方で、病院事業における累積欠損金や基金借入残高などの債務が依然として多額であり、健全化判断比率も高い水準であることから、いまだ厳しいものとなっております。

しかしながら、国の補正予算を活用して2月補正と連動した予算編成とし、災害に強いまちづくりを目指す防災・減災対策の強化や医療、健康づくりに向けての取組、子育て支援の推進、教育環境の充実など、市民生活向上への施策が進められていること、あわせて、地域経済の活性化や都市の魅力づくり、農業振興に向けた取組の推進、東京2020オリンピック・パラリンピ

ック大会を間近にした諸施策など、まちづくりへの取組も展開されていることが確認できました。

さらに、市民の意見や要望を集約した公明党千葉市議団の令和2年度予算編成に関しての要望に対し、一定の取組も認められ、新年度予算案を評価すべきものと判断いたしました。

引き続き、厳しい財政状況が続く中、財政健全化の取組とともに、人口減少、超高齢社会の進展を見据え、誰もが住み続けたいと思える魅力ある千葉市を目指して、市民生活向上の施策の充実に取り組みられるよう要望いたしまして、公明党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（近藤千鶴子君） 小坂さとみ委員。

○委員（小坂さとみ君） 未来民主ちばの小坂さとみでございます。会派を代表いたしまして、令和2年度予算案に対し賛成の立場から意見表明を行います。

令和2年度の予算議案及び関係議案について慎重かつ詳細に審議し、我が会派としましては、これまでの財政健全化の成果を維持することを基本としつつ、本市の未来をつくるための投資がしっかりと行われているほか、さらなる市民生活の向上に向け、バランスのとれた予算となっていることを確認したところであります。

財政健全化では、第3期財政健全化プランに基づく取組により、主要債務総額や市債残高が低減傾向であり、取組が着実に進んでいることが感じられたところです。

施策面では、去年の台風や大雨被害を教訓とした災害に強いまちづくりに向けた取組、いよいよ今年に行われる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や令和3年1月に迎える市制100周年の機運醸成に向けた取組、受動喫煙対策や地域包括システムの構築、強化、障害者施策の促進、保育の質の確保と子供の貧困対策、小学校の水泳学習における民間スイミングスクール活用やアフタースクール事業の充実、拡充などの教育の充実、農業施策の積極的な推進、加曽利貝塚の魅力向上を初めとした都市アイデンティティーの確立など、我が会派が要望している施策もおおむね反映されていることが確認できました。

今後も、引き続き、将来負担とのバランスを配慮しつつ、未来への投資を積極的に行い、97万人市民、誰もが真に夢と希望を育み、生涯を託していける郷土千葉市を目指し、市政運営に当たられるようお願いいたします。

以上、会派を代表しまして、評価、要望を申し上げ、市長より提案をされました令和2年度予算案に対して、改めて賛成であることを表明し、未来民主ちばを代表しての意見表明といたします。

○委員長（近藤千鶴子君） 以上で、意見表明を終わります。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案のうち、議案第8号、第9号、第11号から第13号まで、第15号、第16号、第18号から第20号まで、第22号及び第23号の12議案を原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（近藤千鶴子君） 御異議ないものと認め、原案のとおり可決されました。

続いてお諮りいたします。議案第7号、第10号、第14号、第17号、第21号及び第24号の6議案を原案のとおり可決することに賛成の方の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（近藤千鶴子君） 起立多数、よって原案のとおり可決されました。

**暫 定 版**

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（3月13日）

---

以上をもちまして、予算審査特別委員会を終了いたします。長期間慎重審査ありがとうございました。

午 後 3 時 54 分 散 会

---

**暫 定 版**

※確定版の記録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和2年予算審査特別委員会記録（3月13日）

---

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

予算審査特別委員長 近 藤 千鶴子